

開設科目名	科目概要
発達心理学 (R3認定講習)	発達を理解することの意義や重要性を、心身の発達や学習の過程を通して学ぶとともに、各発達段階における特徴的な事象について理解する。また、発達心理学の知見をふまえ、乳児・幼児および児童生徒への関わりについて考察し、心理的特性をふまえた学習活動の基礎となる考え方について学ぶ。
保育内容指導法(表現) (R3認定講習)	(絵画表現)幼児期の発達過程に応じた絵画表現について講義と実践より、一人一人の子どもの笑顔と個性が輝く心豊かな表現力を追及します。また、子どもの遊びを基盤とする造形遊びの楽しさや不思議さについて、子どもが「やってみたくなる」教材研究(身近にある色々な素材を使いイメージや創造力を引き出す)・子どもの心がワクワクする絵画表現遊びについて学びます。 (音楽表現)音楽表現では「乳児(0歳～2歳)リトミック」と「道具(シフォン、ボールなど)を使ったリトミック」を通じて、子どもの感性、リズム感、想像力、表現力、判断力、集中力、集団でのコミュニケーション力、非認知能力などを伸ばすことについて学びます。またICTを利用した子ども劇をグループで創作・発表して楽しみます。
教育方法学 (R3認定講習)	教育方法・技術に関する基礎的な理論(経験主義と系統主義、欧米と日本の教育方法論、授業(学校文化)における社会・経済構造など)を概説する。また、ICT(パソコンやタブレット端末、メディア機器など)を授業で活用する方法を紹介する。
教職入門 (R3認定講習)	本講義では、教職の役割と機能、また教職者に求められる資質能力について検討する。その際、以下の点に留意する。①行政、子ども自身、家庭、社会などから、教職者に対してどのような機能と役割、資質能力が期待されているのか。②そうした教職への期待が、これまでの歴史のなかでどう変化し、現代の教育にどのような影響を与えているのか。以上の点を検討することで、教職に対する理解を深め、キャリア意識の形成と定着をめざす。
幼児と表現 (R3認定講習)	遊びの中にある幼児と表現の関係やその多様性、また、表現活動を通して培われていく力に目を向けながら、幼児の表現を支え、豊かな領域「表現」の活動を実践していくために必要な視点や知識・技能などを、実践的な取組みを通して身に付ける。
教育学概論 (R3認定講習)	本講義では、人間の成長・発達と教育の関係性、また現在あるいは今後の教育の在り方について、これまで提示されてきた理論や制度、歴史の側面から考察します。 更に現代の教育課題について、教育学で蓄積されてきた知見や理論をもとに、受講者の皆さんの教育者としての経験を踏まえながら検討します。